

Press Release(R4/3/15)

「音楽が描く、ステレオタイプを考える」社会科授業を実施

－ 模擬投票ではない、原理的な主権者教育の実践 －

本学教育学部田中伸准教授は、サブカルチャーと社会の関係を分析しており、その中で、私たちが無意識に触れている様々な音楽に隠れている思想や権力を分析する社会科授業を、「音楽が描く、ステレオタイプを考える」と題して実践します。

主権者教育には様々な方略があり、模擬投票だけが主権者教育ではなく、原理的に社会を分析し、そこへコミットしてゆく教育が主権者教育です。今回の授業では、「中学生は音楽に描かれている社会へどのように向き合っているのか」、また「音楽が意識的・無意識的に描く社会をどのように考えているのか」について、白川郷学園の澤之向先生と協働で授業を実施し、中学生と共に議論します。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願いします。

記

日時：3月16日（水）13時25分～14時15分

会場：白川村立白川郷学園

対象：8年生（中学2年生）

内容：【授業実践】

音楽が描く、ステレオタイプを考える

－ 社会に溢れる差別やラベリングを解体する －

授業者：澤之向 達也 先生

タイムテーブル：

13:25－14:15 授業実践

14:15- 研究討議（田中准教授）

【問い合わせ先】

岐阜大学教育学部社会科教育講座 田中 伸

TEL：058-293-2231

E-mail：nobol@gifu-u.ac.jp